

輝 SONODA SPORTS PRESS

経験値教育

園田学園女子大学

園田学園女子大学短期大学部
〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7-29-1

[学部・学科]
●人間健康学部/総合健康学科 ●人間教育学部/児童教育学科
人間看護学科 短期大学部/生活文化学科
食物栄養学科 幼児教育学科

お問い合わせ先 スポーツ振興センター

TEL 06-6429-9137
FAX 06-6429-9116

URL <http://www.sonoda-u.ac.jp/sports/index.html>



西日本女子学生剣道3

西日本学生 優秀選手賞 河野 明日美

園田女子剣士の心と技 見せた!

位

剣道の西日本女子学生大会は5月24、25の両日、福岡市民体育館で行われ、園田学園女大は13年ぶりに準決勝へ勝ち進み、3位の座をつかんだ。大将を務めた河野明日美(児童教育学科3年)が優秀選手賞を受賞した。また、4月の関西女子学生選手権では倉万亜子(同)が8強に進出。全日本女子学生選手権(7月・日本武道館)の出場権を獲得した。



倉が関西学生8強

剣道部は今年度初戦の兵庫学生大会で米田麻央(総合健康学科3年)が個人戦優勝、団体A・B両チームが3位で発進。続く関西女子学生選手権に園田学園女大勢は6選手が出場した。前回16強の堤鈴花(総合健康学科3年)らが苦戦するなか、前回1勝だった倉が奮闘。しぶとく勝利を重ね、準々決勝に進出した。8強の壁は突破できなかったが、全日本学生の出場権を獲得。「初戦からレベルの高い内容になると思いますが、相手に動じることなく、一戦一戦を大切に、自分らしい剣道をめざします」と意気込んでいる。



また、飯田麻衣子(児童教育学科3年)と関屋祥子(総合健康学科3年)が3回戦を突破。全日本学生の出場権をあと1勝のところまで逃したが、着実に力を付けていることを示した。

一戦勝の進撃 13年ぶりの3位

関西女子学生選手権で表出した課題を胸に、剣道部は団体戦で競う西日本学生大会が開かれる福岡へ遠征。関屋祥子(総合健康学科3年)、倉、佐々木悠希(総合健康学科3年)、堤、河野の5人を主力として、金子真三(児童教育学科3年)と武末沙也香(同2年)を加えて団体戦に臨んだ。



1、2回戦を快勝すると、3回戦は1戦も落とさず完勝。準々決勝も勝利し

たが、準決勝で前回準優勝の福岡教育大が立ちほだかった。

河野がコテで一矢を報いたが、健闘実らず、快進撃が止まった。それでも13年ぶりの3位は立派だ。

優秀選手賞を受賞した河野は「関西学生は全日本学生への切符を一人しか獲得することができず、悔いの残る大会でした。そのため西日本学生に懸ける思いが強くなり、一戦一勝を目標に臨みました。自分のためにも、支えてくださる方々ためにも戦うことの大切さをあらためて学んだ大会になりました」と振り返る。

関西学生、西日本学生のメンバーは3年生が中心。心技を磨く余地はまだまだある。



秋の関西&全日本の女子学生優勝大会に向けて、倉の「甘えをなくし、日々厳しく取り組んでいきます」という言葉に、剣道部の決意が込められている。



関西学生8強で全日本学生出場を決めた倉

”全員剣道”の成果 河野明日美

「西日本大会は今年初めての5人制でした。それまで個人的にもチーム的にも結果が出ず、悔しい思いをしてきました。関西学生での反省を活かして稽古に励んできたことが、今回の3位につながったのだと思います。優秀選手賞は自分一人の力ではなく、全員で一生懸命戦った結果です」

主要大会上位成績

- ◆兵庫学生大会
 - 個人戦
 - 優勝 米田麻央(総合健康学科3年)
 - 3位 飯田麻衣子(児童教育学科3年)
 - ベスト8 関屋祥子(児童教育学科2年)
 - 団体戦
 - 3位 園田学園女大A(倉飯田牧)
 - 園田学園女大B(関屋佐々木、武末)
- ◆関西女子学生選手権大会
 - ベスト8 倉万亜子(児童教育学科3年)
 - ベスト16 広瀬(京都精華大)
 - ベスト16 田口(姫路獨協大)
 - ベスト16 久堀(龍谷大)
 - ベスト16 川本(立命館大)
 - ベスト16 佐野(大阪体育大)
- ◆全日本女子学生選手権出場
 - 全日本女子学生選手権出場
- ◆西日本学生選手権大会
 - 園田学園女大
 - 1回戦(3/4) 1-1(九州共立大)
 - 2回戦(3/3) 1-1(常葉大)
 - 3回戦(3/3) 0-0(西遊学院大)
 - 4回戦(2/2) 1-1(香川大)
 - 準々決勝(2/3) 1-1(広島大)
 - 準決勝(0/1) 1-2(福岡教育大)

※試合写真は関西女子学生選手権

8季連続 春季関西学生リーグ ソフトボール部 全戦全勝

第46回春季関西学生リーグ戦は4月19日～5月5日、園田学園女大グラウンドを中心に熱戦が繰り広げられ、園田学園女大が8戦全勝で8季連続優勝を飾った。昨年までのバッテリーをはじめ、センターラインが卒業した後の今季は、抜けたポジションをどう埋めるかが注目されていた。



先発エースとして力投する池田

要所で投打かみ合う
守備に課題も

昨年のインカレ準優勝を全部員が満足していなかった。日本一奪還を目標に掲げ、昨年11月にスタートした新チーム。バッテリーをはじめ大学日本代表クラスの中心選手が卒業し、オフシーズンは、昨年のチームで優勝できなかった理由と課題に向き合いながら、体力向上のために走りこんだり、変化球を覚えるために投げ込んだり、ヘッドスピンを上げるためにバッドを振り込んだりと練習に励んだ。

新入生を迎え、いよいよ春季関西リーグ戦が開幕。初戦の奈良文化短大戦は、緊張とプレッシャーで効率の良い攻撃ができなかったが、新エース池田美樹(児童教育学科4年)の安定したピッチングで、4-0の完封勝利で発進した。続く神戸親和大、大阪国際大、天理大戦は投打がか

◆春季関西学生リーグ戦結果

〈1次リーグ〉	園田学園女大 ○4-0 奈良学園奈良文化女短大 ○10-0 神戸親和女大 (5回コールド) ○5-0 大阪国際大 ○8-0 天理大 (5回コールド)
〈2次リーグ〉	園田学園女大 ○6-5 大阪大谷大 (8回タイブレーク) ○11-0 関西大 (4回コールド) ○8-4 武庫川女大 ○4-1 立命館大
〈個人賞〉	[打撃賞] 2位 堤加菜子(総合健康学科2年) 打率 .550 3位 田井亜加音(総合健康学科2年) .500 4位 古澤春菜(総合健康学科4年) .474 8位 児嶋優(総合健康学科2年) .358
	[投手賞] 5位 池田美樹(児童教育学科4年) 防御率 1.074
	[ベストプレー賞] 池田美樹
	[盗塁賞] 古澤春菜 7個



女子大学日本代表に4名選出 東アジアカップ優勝に貢献

ソフトボールの第3回東アジアカップ(6月9～11日・中国)に出場する女子大学日本代表チームに園田学園女大から、投手・池田美樹(和歌山県立笠田高校出身)、内野手・亀井愛梨(須磨ノ浦高校出身)、内野手・古澤春菜(京都西山高校出身)、外野手・田中瑠璃(九州女子高校出身)の4名が選出されました。古澤は3年連続、亀井は2年ぶり2度目の代表入りとなりました。

6月3日、校内で壮行会が行われました。多数の学生、教職員が駆けつけ、一谷宣宏理事長と富永嘉男学長からの激励の言葉の後、4名を代表して、古澤が「大学代表として、園田の代表として頑張ります」と意気込みを熱く語りました。

東アジアカップ
 <予選リーグ>
 女子大学日本代表 1-5 台湾代表
 5-0 韓国代表
 1-0 中国代表
 <決勝トーナメント>
 女子大学日本代表 4-1 台湾代表
 [決勝] — 中国代表
 ※雨天中止。通算成績により、女子大学日本代表が優勝。

み合い勝利。予選リーグ1位で部別リーグに進出した。その初戦の大阪大谷大戦は度重なる攻撃チャンスを逃し、守備の乱れも重なって、7回裏の攻撃まで4-5の劣勢。しかし、主将の古澤春菜(総合健康学科4年)が起死回生の同点ホームランを放ち、タイブレーカーに突入。今年のテーマ「粘り強く」を貫く全員ソフトを見せ、延長8回でサヨナラ勝ちを収めた。

課題だったバッテリーは、試合の要所を抑える池田の好投が光った。また、原田悠(同2年)・市谷愛美(同2年)両投手の活躍や新入生の原奈々(児童教育学科1年)も楽しみな逸材である。

しかし、捕手を含め、野手の守備の乱れによる失点は、夏に向けて克服しなければならぬ。関西リーグ優勝で夏への弾みをつけたチームは、すでに夏の日本一奪還への挑戦にスタートしている。



正捕手の二宮

昨秋のリーグ戦で1部に昇格したバレーボール部。持ち味である速さのコンビバレーで勝負しようと思っただけ、レベルの高さになかなか勝利をつかむことができなかった。

3戦目、昨年秋季リーグ3位の大阪国際大との一戦。秋元麻希(総合健康学科3年)の強打と粘りのレシーブで3-1と勝ち取った。1部での初勝利は大変大きなものとなった。

6戦目は2部で1度も勝てなかった大阪学院大との試合。第1セットは流れをつかみ、園田らしいバレーを展開することができた。しかし、第2・第4セットは相手のリズムを切ることでできず、2-2で最終セットに突入した。

長いラリーが続く、ポイントを奪い合う展開。最後は蔵立有衣(児童教育学科3年)の強打が決まり、フルセットで勝ちをつかんだ。

秋季の上位進出へ意欲



バレーボール部 返り咲きの関西1部で健闘

だ。昨年は1度も勝つことができなかった相手に勝つことができ、選手たちも達成感に満ちていた。

1次リーグは2勝5敗で6位となり、2次リーグ(下位リーグ)へ。その初戦でも大阪学院大とフルセットの争い。ここでも粘りを見せて勝利をつかんだ。

9戦目の大阪国際大戦。この試合に勝てば1部残留が決まる。レシーブでは粘りはあるもののお互い決め球が出ず、長いラリーが繰り返された。先にリズムに乗ったのは園田学園女子大。3-1で2次リーグ2勝目を勝ち取った。

最終戦は敗れたが、通算4勝6敗の6位で、1部残留となった。レベルの高い1部で新たな課題も見つかった。レシーブにさらなる磨きをかけて、秋季リーグでは1部上位をめざす。

機能充実の新体育館

来春完成予定

園田学園女子大学は、文学・家政系の女子大学として1966年に開学しました。その後2002年に人間健康学部、2008年に人間教育学部が設置され、保健体育や小学校の教員免許が取得できるようになりました。これに伴い、学校体育に関する実技科目が増え、体育施設の充実を進めてきました。さらに現在、新体育館(2015年3月竣工予定)を建設中です。

新体育館には1階にトレーニングルーム、武道場兼多目的室、2階にメイナアリーナ、3階に1周150mのランニングコース、別棟に講義室、宿泊施設を兼ねたサブアリーナが完備されます。

授業や運動部活動の拠点として、トレーニングルームを使った学生の健康増進効果の場として、活用が期待されます。



関西大学女子春季リーグ戦

1部6位(通算4勝6敗)
〈1次リーグ〉
園田学園女大 ○0-3 龍谷大
○1-3 神戸親和女大
○3-1 大阪国際大
○1-3 京都橋大
○2-3 大阪体育大
○3-2 大阪学院大
○1-3 千里金蘭大
〈2次リーグ(下位)〉
園田学園女大 ○3-2 大阪学院大
○3-1 大阪国際大
○1-3 千里金蘭大
〈個人賞〉
猛打賞 秋元麻希(総合健康学科3年)



加治 遥

今年もヒロイン 2連覇

女子シングルス

加治遥 (総合健康学科2年) がまた輝いた。大阪市・韮テニスセンターで行われた平成26年度関西学生春季テニストーナメント女子シングルス決勝で、加治が畑守美里 (関西大) をセットカウント2-1で破り、2連覇を達成。池田紗也 (総合健康学科2年) とペアを組んだダブルスでは2連覇を逃した。新加入の大石歩美 (食物栄養学科1年) もシード選手を破るなど健闘を見せ、ベスト8進出を果たした。

関西学生テニス春季トーナメント

は、昨年度から持ち越された目標がある。全日本学生選手権の個人タイトルと全日本大学対抗王座決定試合のチームタイトルだ。加治を中心とした切磋琢磨しつづけることで、その可能性が膨らむ。

関西学生春季トーナメントの女子シングルスに園田学園女大勢は8人が出場。7人が初戦に勝ち、加治、大石、桐畑和佳 (総合健康学科3年)、池田紗也、志村桃 (同2年) の5人がベスト16 (3回戦) に進出。加治と大石がこれを突破した。

順調に勝ち上がってきた加治は、準々決勝で第2セットを奪われ、第3セットも相手の粘りに直面した。準決勝は1ゲームしか落とさず完勝したが、決勝も第1セットを落とす苦しい展開となった。しかし「絶対に優勝する」と強い決意で臨んだ大会。不完全燃焼ではプライドが許さない。気持ち向前向きに保ち、集中力とリズムを立て直す。加治の本領発揮。第2セット6-0、第3セット6-1と相手を圧倒した。ダブルス2回戦で打ち負けた相手ペアの一人、畑守に逆転勝ち。2年連続単複2冠を阻止された雪辱を果たした。



大石 歩美

テニスは健在。劣勢に立たされる場面もありながら、要所で修正能力の高さを見せ、そこに、1年間の成長を感じさせた。「思うようなプレーができず、相手にリードされる展開もありましたが、優勝することができ、ホッとしました。自信にしたいです」と加治。チームメイトのサポートや応援、監督・コーチの指導に応える2連覇達成だった。

ルーキー大石が健闘のベスト8

大会成績

【関西学生春季トーナメント】
【女子シングルス】 (3回戦以降)
3回戦
加治 遥 (6-0) 桐畑和佳
池田紗也 (3-4) 古崎
大石歩美 (6-4) 筒井
志村 桃 (3-6) 村田
【準々決勝】
加治 遥 (6-1) 窪村
大石 (7-4) 窪村
大石 (5-0) 宇佐美
加治 (6-0) 北川
【準決勝】
加治 遥 (6-0) 畑守
加治 (6-0) 畑守
【決勝】
加治 遥 (6-0) 畑守

大会成績

【関西学生春季トーナメント】
【女子ダブルス】
1回戦
加治 遥 (7-5) 川筋・松田
池田紗也 (6-2) (関西外語大)
桐畑和佳 (6-2) 松永・高山
則信ゆめ (6-3) (神戸松蔭女大)
足立芽衣 (6-1) 東原・竹浪
岡 英里 (6-1) (関西学院大)
石川 恵 (0-6) 村上・田中
大石歩美 (0-6) (関西学院大)
2回戦
加治 遥 (5-7) 畑守・田原
加治 遥 (6-4) 岩崎・古崎
桐畑・則信 (7-5) (関西学院大)
足立・岡 (10-6) (立命館大)
【準々決勝】
桐畑・則信 (1-6) 酒井・伊藤
桐畑・則信 (2-6) (関西学院大)

関西女子大学春季リーグは2勝4敗で3位となりました。今年度は選手が主体的に野球に取り組み、目標に多くのコミュニケーションを心がけ、練習も目標を設定して行っていました。

軟式野球部 関西女子大学春季リーグ3位

大会成績

関西女子大学春季リーグ
園田学園女大 ● 0-3 武庫川女大
● 6-7 大阪体育大
○ 8-1 大阪芸術大
● 4-10 武庫川女大
● 0-8 大阪体育大
○ 13-2 大阪芸術大

大会成績

全関西学生選手権大会
3回戦進出

全関西バスケットボール女子学生選手権で2回戦を突破したバスケットボール部は、3回戦で昨年準Vの大阪人間科学大と対戦。第1ピリオドはリードを許したが、第2ピリオドは攻撃のリズムをつかみ、追いつきムードに。第3ピリオドも粘り強いディフェンスを続け、終了時には7点差に詰め寄った。

大会成績

全関西女子学生選手権大会
1回戦
園田学園女大
○ 121-27 大阪産業大
2回戦
○ 76-59 びわこ成蹊スポーツ大
3回戦 (ベスト16)
● 59-79 大阪人間科学大
◆ 西日本学生選手権大会
1回戦
園田学園女大
● 61-62 九州共立大学



頼れるセンター福島朋実 (児童教育学科3年)

強豪相手に収穫あり

バスケットボール部

回戦で九州共立大に延長の末、61-62と惜敗した。「もつと戦えた」という悔しさを胸に、メンバーは秋季の躍進を誓う。

悲願の1部昇格をめざして

ラクロス部

昨年の関西学生リーグ戦では1部との入替戦までいったものの、惜しくも敗退し、1部昇格を逃してしまいました。今年こそはチーム一丸となり1部昇格をめざします。練習試合や交流戦・遠征などを積極的に、普段の練習ではお互い厳しく指摘しあう声も聞かれています。8月から始まるリーグに向けて、選手一同、精いっぱい頑張ります。

試合結果

2014年度
ラクロス全国地区交流戦 大阪会場
園田学園女大 ● 3-8 同志社大
○ 11-5 岡山大学
○ 10-5 東京大

私たちは、SONODAで心・技・体を磨きます!

2014年度 クラブ新入生

【テニス部】
岡 英里 (園田学園高校・兵庫)
川本 桃子 (美鈴が丘高校・広島)
木村優希 (星陵高校・石川)
田中 虹河 (愛媛女子短期大学付属高校・秋田)
大石 歩美 (柳川高校・福岡)
林 玲菜 (園田学園高校・兵庫)

【ソフトボール部】
米本 実姫 (多治見西高校・岐阜)
家治 春奈 (佐賀女子高校・佐賀)
鴨崎 南夢 (中村女子高校・山口)
加藤 愛夢 (愛媛県立西条高校)
萩 真子 (神村学園高校・鹿児島)
萩尾美華 (筑陽学園高校・福岡)
森 菜々穂 (羽衣学園高校・大阪)
上田 菜月 (羽衣学園高校・大阪)
原 奈々 (羽衣学園高校・大阪)
安本 愛恵 (埼玉栄高校・埼玉)
濱地 沙歩 (北九州市立高校・福岡)
神崎 奈帆 (大分県立大分西高校)

【バスケットボール部】
増田沙南子 (大阪府立大塚高校)
東 美緒 (安城学園高校・愛知)
藤田 夢 (石川県立津幡高校)
小野塚はるの (中村学園女子高校・福岡)
藤田 真生 (大阪薫英女学院高校・大阪)
藤田 美優 (奈良女子高校・奈良)
曾田 風紗 (島根県立松江商業高校)
高島 里紗 (大阪桐蔭高校・大阪)
榎本 芽生 (奈良文化高校・奈良)
出道さつき (大阪高校・大阪)
近藤 沙樹 (愛媛県立新居浜商業高校)
河井 真紀 (奈良文化高校・奈良)
矢川 美生 (夙川学院高校・兵庫)
中村加奈子 (大阪府立日新高校)
藤井 菜帆 (夙川学院高校・兵庫)

【バレーボール部】
中北 奈那 (夙川学院高校・兵庫)
上村あすか (建国高校・大阪)
藤本 菜摘 (四天王寺高校・大阪)

森本 真園 (高知中央高校・高知)
坂井 風香 (香川県立高松東高校)
中塚 玲奈 (兵庫県立水上市高校)
大家 育海 (兵庫県立熊野高校)
和田久瑠美 (神戸野田高校・兵庫)
笹川 碧 (奈良県立法隆寺国際高校)

【剣道部】
峯崎 裕子 (兵庫県立神戸鈴蘭台高校)
宮野 華 (兵庫県立琴丘高校)
吉山 茜 (須磨学園高校・兵庫)
柴田 寧々 (福岡舞鶴高校・福岡)

【陸上競技部】
名倉 千晃 (東大阪大学敬愛高校・大阪)
今村 滯 (園田学園高校・兵庫)
宇田 祐稀 (福井県立敦賀高校)
内田千香子 (兵庫県立姫路商業高校)
内山 友貴 (京都橘高校・京都)
浦山 静奈 (山口県立田部高校)
奥野有里菜 (和歌山県立和歌山北高校)

池田 陽加 (兵庫県立明石城西高校)
小野 優菜 (兵庫県立北摂三田高校)
加藤美音流 (兵庫県立武庫之荘総合高校)
小浦 瑞紗 (大阪府立枚方高校)
佐藤佳菜子 (関西大学北陽高校・大阪)
鷺見 千尋 (夙川学院高校・兵庫)
寺崎 清美 (園田学園高校・兵庫)
仲里すみれ (近畿大学付属高校・大阪)
中島ひとみ (夙川学院高校・兵庫)
中村 瑠菜 (関西大学北陽高校・大阪)
西久 可奈 (園田学園高校・兵庫)
濱 いつか (園田学園高校・兵庫)
福永 奏美 (小松大谷高校・石川)
福家あかり (園田学園高校・兵庫)
三谷 真由 (園田学園高校・兵庫)
三宅 れい (大阪体育大学浪商高校・大阪)
柴田あずみ (鳥取県立倉吉東高校)
吉村 果林 (園田学園高校・兵庫)
静間 藍子 (鳥取県立米子南高校)
島 由佳 (兵庫県立明石高校)

※カッコ内は出身高校

関西学生2位&日本選手権6位



七種競技の宇都宮が関西学生2位。100mハードル14秒68、200m25秒56と走種目で高得点を挙げ、得意の走幅跳も5m70を跳んだ。

冬季に体調を崩し、練習できない期間を過ごしてきただけに、「今出せる全力でと思って競技しました。5000点を越えることができ、まだ伸びると感じました」と納得の結果だった。

5月31日・6月1日の両日に行われた日本選手権混成では5145点で6位入賞。優勝争いを演じる日本学生選手権(9月)に向けて、苦手の投てき種目も鍛えていく。

福富が日本選手権 陸上女子砲丸投で1cm差

2位

関西インカレ女子総合2位 走跳投各種目で活躍光る



福富栄莉奈

宇都宮は日本選手権混成6位 陸上競技の第91回関西学生対校選手権(5月7-10日)で、園田学園女大は女子総合2位の過去最高成績をあげた。本職の砲丸投で2位だった福富栄莉奈(総合健康学科4年)は円盤投で2連覇を達成。さらに日本選手権では砲丸投15m21で銀メダルを獲得。優勝記録に1cm及ばない悔しい投てきだった。関西学生で七種競技2位の宇都宮絵莉(児童教育学科3年)も日本選手権混成6位入賞と活躍した。

あと1cm... 悔しい銀メダル

女子砲丸投の関西学生記録保持者の福富が今季も快調だ。4月2日に15m19を投げると、4月20日の兵庫リレカーニバルでは一般高校、日本トップ選手で競うグランプリの両カテゴリーで15m23をマークした。しかし好成績多し。右手首を痛め、関西学生は2位。

それでも前回の優勝記録を越える14m85の大会新を投げ、円盤投は自己新記録の45m58で2連覇。投てき学生日本一を狙う実力者の意地を見せた。

冬期練習で試合規格より1kg重たい5kgの砲丸を投げ込んだ。実戦の4kgが軽く感じられ、投てき動作にも余裕が出ているという。また、自分を越える相手をイメージし、大会でプレッシャーがかかる場面を

学生スタッフが運動指導 フィットネスルーム

フィットネスルームでは現在、総合健康学科の学生6人(4年生3人・3年生3人)が学生スタッフとして活動しています。利用者へのトレーニング指導やイベントの企画・運営のほか、トレーニング動画を配信したり、バランスボールやストレッチボールの使い方をまとめた資料を作成したり。将来スポーツ分野の指導者を目指す学生にとって最適な勉強の場となっています。



スタッフインタビュー

スタッフをやろうと思ったきっかけは?

- ・将来に生かすため。
・勉強してきたことを実際に生かして経験できる場だと思ったから。

スタッフをしてみてもうですか?

- ・クラブ生だけでなく、一般学生も運動に興味があることがわかった。
・人に教えることが難しかった。
・たくさんの人に運動指導をして私もたくさん学ぶことができています。

今後フィットネスルームをどのようにしていきたいですか?

- ・誰でも使用しやすい雰囲気をつくりたい。
・毎月開催しているイベントなどを通して利用者を増やし、健康づくりをサポートする場にしたい。

想定した練習を繰り返すなど、精神面も強化した。国内最高峰の日本選手権は、教育実習期間中に迎えた大会だったが、「中途半端なことはしたくない」と意欲に燃えて臨んだ。前半3投目まで伸び悩んだものの、5投目に自己記録に迫る15m21をマーク。社会人選手が15m22を投げたおり、6投目に逆転を狙ったが15m18。日本一の栄冠が1cm差ですると逃

げた。悔しさは大きいですが、「9月の日本学生で優勝をめざします」と気持ち切り替える福富。夏の大会に苦手意識はあるが、「しつかり食事と栄養を取り、コンディションを整えて挑戦します」と、学生最高のタイトル獲得を誓っている。

Table with 2 columns: Major competitions and top performance results. Includes categories like 'Main Competitions' and 'Top Performance' with specific event names and results.

SONODA Open Campus 2014

オープンキャンパス開催 申込不要

- 5/25 (H) 10:00~14:00
7/20 (H) 10:00~15:00
9/15 (月・祝) 10:00~15:00
6/22 (H) 10:00~15:00
8/9 (土) 10:00~15:00
8/17 (H) 10:00~15:00
8/23 (土) 10:00~15:00



緑あふれるキャンパスは 未来へつづく私のステージ。

経験値教育 園田学園女子大学 園田学園女子大学短期大学部

上位進出をめざすSONODAに 応援をよろしくお願ひします!

Table of sports teams and their schedules. Includes categories like Tennis, Softball, Basketball, Volleyball, Fencing, Track & Field, Cross Country, and Softball, with dates and locations for various competitions.